

1.概要

- (1) 実施日 2015年3月8日(日)9:30~15:00 天候 曇り時々晴れ
- (2) コース 神鉄緑が丘駅(集合)→登山口→雄岡山→金棒池バス停・雌岡山登山口→雌岡山梅林→雌岡山・神出神社(昼食、トイレ)→神出神社旧参道→拍子ヶ池(休憩)→金棒池バス停→五百蔵休憩所(トイレ)→神鉄緑が丘駅(解散)
- (3) ポイント 雄岡山・雌岡山を巡っての観察会です。雄岡山へは野鳥のさえずりを聞きながら雑木林に囲まれた緩やかな坂道を。雌岡山では満開の梅の花・春の準備にはいった草木が私たちを迎えてくれます。頂上からは東に六甲山系、南に明石海峡・淡路島とスケールの大きな展望が望めます。
- (4) 参加者 ビジター33名+会員36名=69名
- (5) 配布資料 コースMAPおよび雄岡山・雌岡山散策資料(地理、伝説)

2.準備・実施

- (1) 下見 2月21日(1班)、3月1日(自主研修会)
- (2) 説明担当 ビジター対応:1班(大橋・青木)、2班(木下・太田)、
会員対応 :福本、武川、松本

3.観察記録

- (1) 神鉄緑が丘駅(集合)→登山口(9:50)→雄岡山→金棒池バス停・雌岡山登山口(11:20)
- ・緑が丘駅前広場で班分け後、コースの説明を行う。
 - ・雄岡山でアベマキについて説明(コルク層、クヌギとの相違点)。
 - ・雄岡山頂上で雄岡山・雌岡山の伝説や地形等の説明。
 - ・雄岡山降り口で、金棒池について説明。

《観察植物》

アベマキ、コナラ、ネジキ、ノグルミ、
ソヨゴ、コジイ、ヒサカキ、エノキ、ヤツデ、
クズ、タカノツメ、シャシャンボ、カゴノキ、
ヤブニッケイ、ウグイスカグラ、キズタ、
オランダフウロ、キリ



「雑木林の中で観察」

(2) 金棒池バス停・雌岡山登山口 (11:35) →雌岡山梅林→雌岡山・神出神社 (12:05)

- ・雌岡山登山口で冬季のイヌビワ (受粉) および早春のスギ (スギ花粉) について説明。
- ・雌岡山梅林で万葉集から現代まで日本人の好む梅について説明 (万葉集より 2 首詠む)。
- ・雌岡山登山道でカクレミノについて説明 (名前の由来、葉の変形理由)。
- ・昼食

《観察植物》

イヌビワ、スギ、トウネズミモチ、ヤマモモ、
ハゼノキ、ハリギリ、ウメ、カラスザンショウ、
ナンキンハゼ、ヤマコウバシ



「イヌビワについて」

(3) 雌岡山・神出神社 (12:55) →神出神社旧参道→拍子が池 (10分休憩)

→金棒池バス停 (14:00) →五百蔵休憩所 (トイレ) →神鉄緑が丘駅(15:00)

- ・昼食後、3班より4月定例自然観察会のチラシ配布および参加勧誘を行う。
- ・雌岡山山頂からの展望を説明。
- ・雌岡山山頂で神出神社について説明。
- ・拍子ヶ池への道で、タンポポについて説明。(生態、花の構造)
- ・拍子ヶ池で休憩。(給水をすすめる)
- ・五百蔵休憩所でトイレ休憩、参加人員確認。
- ・緑が丘駅に予定時間通り事故なく到着し、解散。

《観察植物》

ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、ナズナ、
コセンダングサ、タンポポ、オランダフウロ、
ノゲシ、コハコベ、ノボロギク、ヒガンバナ (葉)



「タンポポの生態について」

4.感想

- (1) 観察会の目的（ポイント）について、野鳥は少なかったが、気温も暖かく、早春の雑木林での観察を楽しめたと思う。
- (2) 3月初旬の観察会、緑が丘駅までのアクセス等で、参加人員について心配したが、ビジター、会員共に、多かった。
- (3) 定例自然観察会として初めての場所であり地域、伝説の紹介を行い、楽しめたとの言葉を頂いた。
- (4) ウコギ科の植物が豊富で、説明時間を多くとった。参加者からも、理解しやすいとの評を得た。
- (5) 昼からのため池で（拍子ヶ池等）、田んぼの畦、道路脇の観察予定の早春の草花が、野焼きなどで無くなり、紹介ができなかった事が残念であった。
- (6) ビジター参加者 33 名に対しは、2 班構成でなく 3 班構成にすべきであった。

以上